職員会議（６月２４日（木））　校長より

※新しい年度がスタートして３か月。ちょっと立ち止まって、この３か月を振り返ってみましょう。（期末考査、授業評価アンケート、１学期の反省など）
※その上で、次の３か月をどうしていくか考えましょう。
※どのように１学期をまとめるか。夏休みにつなげるのか。夏休みが終わった後、どのように２学期を始めるのか。

１　これまでの３か月　感じたこと
※はじめよければすべてよし（スタートダッシュ、お疲れさま！）
〇「空気の教育」（形式×くりかえし×時間）
〇いつでも・だれでも・どの授業でも見学できる学校！
〇育成する資質・能力の評価指標（ルーブリック）、「遠野高校授業スタンダード」、キャリアパスポート等を活用し、「主体的・対話的で深い学び」を推進
〇朝の読書、ドリル学習、Ｔ－Ｐａｉクラブ、遠野和紙保存プロジェクト　等々
〇今春の卒業生まで生徒の希望進路実現１０年連続１００％
〇手厚く、丁寧で、きめ細かな指導・支援
〇遠野ならではの教育を続ける・残す・伝える・広げる

２　これからの３か月　考えるべきこと
※実りの２学期に向けて（備えあれば憂いなし！）
〇感染症対策・熱中症対策を講じながら教育活動を保障することが基本線
〇コロナ禍において、生徒の学びのために、何かやろうとすれば、あれこれ悩み・考え、いろいろと大変にならざるをえないのではないでしょうか
〇悲観的に準備し、楽観的に実行することがポイント
〇学校行事・・・球技大会、修学旅行、公開文化祭、マラソン大会、百人一首歌留多大会　など
〇進路実現・・・学力向上（基礎・基本）、就職・進学、職場体験　など
〇学びの変革（ＩＣＴの活用などによる個別最適化された学び）
〇新学習指導要領（特に、観点別評価）
〇学校の在り方の変革（解錠・施錠時間の設定など、限定保障の考え方で）

３　リスク・マネジメント
〇県教委の「信頼される学校づくりを職場の力で」を確認
〇不祥事を他人事としてではなく、自らの問題として受け止め、自らの言動をさまざまな視点で見つめ直すことが必要
〇コロナ禍における体験入学、修学旅行、公開文化祭　など

４　生徒観察、教育相談、心のケア

〇みんなでＳＯＳ（生徒から、先生から）をキャッチ・情報共有（変化に気づく・見逃さない、声かけ、悩みを抱え込まない）

〇特別支援教育コーディネーターと連携しながら、ＳＣ、ＳＳＷなどとつながる・つなげる

５　統合校（いわき湯本高校）の準備

※湯本・遠野の校長・教頭による打ち合わせ　６月１８日（金）

〇喫緊の課題

・中学校（教員、生徒、保護者）等への情報発信（学校説明会、体験入学）

〇業務の洗い出しと進め方

・教育課程、特色ある教育内容
・パンフレット、ポスター
・教科書、志願して欲しい生徒像・選抜方法、高大連携
・体験入学、統合校ＨＰ
・制服、運動着
・校歌、校章、校旗
・ＰＴＡ、部活動後援会、同窓会
・部活動　など

◎“ありがとう”と言える・言ってもらえる生徒を育てていきましょう！